

令和3年竹田市教育委員会第1回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和3年1月8日（金）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員

教育長	吉野 英勝
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	賀籠六尚樹
3 番委員（教育長職務代理者）	姫野 武俊
4 番委員	佐藤 恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育理事	志賀 哲哉
教育総務課長	後藤 惟稔
学校教育課長	渡邊 早苗
生涯学習課長	足立 達哉
まちづくり文化財課長	古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長	後藤 一郎
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課長補佐	大塚 聡子
- 6 議事日程
 - (1) 会議録の承認 第12回定例会会議録
 - (2) 教育長報告
 - (3) 審議事項
議題第1号 令和3年度竹田市教育費予算（当初予算）要求書について
 - (4) 報告事項
報告第1号 令和2年度竹田市教育費予算（12月補正）について
報告第2号 竹田市スポーツ推進審議会からの答申について
 - (5) 審査事項
なし
 - (6) 協議事項
 - (7) 連絡事項
 - (1) 1月幼・小・中行事予定表
 - (2) 1月教育委員会関係日程（予定）
 - (3) 今後の主な予定
 - (8) その他 各課から
 - (9) 教育委員会からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時]

- 後藤教育総務課長 委員の出席状況の報告をさせていただきます。教育長、委員4名、欠席0名、傍聴者0名。地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条に基づき本委員会が成立していることを報告します。
- 吉野教育長 あけましておめでとうございます。コロナの第3波が来たというような感じで、全国的に非常事態の状況の中で、我が大分県竹田市も同じような形になっていると思います。どんな状況になるにしろ、緊張して、そして集中して行政にあたっていかなければならない、仕事に当たっていかなければならないというふうに思っています。どんな局面になりましても、教育委員会の皆様とともに一緒になって、この難局を乗り越えていきたいというふうに考えております。皆さんと一緒に頑張っていくことをお誓いしまして、開会の挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしく願いいたします。それでは、ただいまから第1回の定例会を開会いたします。第12回の定例会の会議録はすでにお配りし、修正等もしたところがありますが、改めまして質疑修正等がありましたらお願いいたします。よろしいですか。
- 吉野教育長 それでは、お認めいただいたということで会議録に署名をお願いいたします。
- 吉野教育長 ありがとうございます。次に、教育長報告をお願いいたします。教育理事。
- 志賀教育理事 はい。12月4日の教育委員会第12回定例会以降について報告いたします。5日、第47回竹田市少年少女ロードレース大会。駅伝の部は実施していません。6日、第74回竹田市駅伝競走大会。稲葉ダム周回コースで、応援等をシャットアウトして実施しました。同日、東京2020オリンピック聖火展示。次いで、議会関係をまとめて報告いたします。8日から10日、一般質問。14日、本会議及び予算特別委員会。18日、社会文教常任委員会。22日、本会議でした。前後しますが、8日、サイクリング合宿表敬訪問。11日、第12回校長所長会議、並びに教育委員会部局課長会議。16日、久住高原農業高校学生寮在り方検討会。18日、学校・幼稚園配置等検討部会報告。21日、久住高原クロスカントリー大会実行委員会。22日、第3回竹田市長期総合教育計画審議会。25日、定例課長会議、並びに仕事納め式。明けて1月2日、第44回竹田新春マラソン大会は中止になりました。4日、仕事始め式。7日、新年互礼会は中止。本日8日、令和3年教育委員会第1回定例会。以上です。
- 吉野教育長 ありがとうございます。それでは今ありました教育長報告について、質疑等ありませんか。よろしいですか。
- (「はい。」の声。)
- 吉野教育長 それでは次に移ります。本日の審議事項は1件であります。議題第1号令和3年度竹田市教育予算当初予算要求書についてです。最初に課ごとに説明をお願いしまして、全部の説明が終わってからそれぞれ質疑を受けたいと思います。教育総務課長からお願いをいたします。

後藤教育総務課長

議題 1 号の令和 3 年度竹田市教育費予算の要求書についてであります。総括表まで、1 ページですが、これは教育委員会内での全体の当初予算要求額を記載しております。歳入、歳出とも予算要求総合計の額となっております。歳入総合計 212,202,000 円、歳出総合計 1,171,354,000 円です。それでは各課ということで、まず私の方から教育総務課の予算の内容を説明させていただきます。歳入については、教育使用料、財産貸付収入、雑入とあり内容については、記載しているとおりでございます。歳入総合計は、3,091,000 円です。次に歳出です。まず基金費ですが、太陽光発電設備基金の積立金となります。次に教育委員会諸費です。主なものとして、教育委員の報酬を記載しております。次に教育委員会事務局費です。会計年度任用職員で 3 年度の要求として、現在 1 名の ICT 支援員を 2 名体制にできないかと要求をしております。委託料として、資産管理システム、施設台帳システムの委託料を新たに要求しております。令和 3 年度は新たに県下統一の校務システムが導入されますので、その利用料が必要となります。また公共施設整備計画で搭載されています、スクールバスの購入費を要求しております。学校支援センターについては、例年通りの要求であります。小学校管理費です。新たなものとしましては、菅生小学校教室棟・屋内運動場外部改修工事設計業務委託料、白丹小の空調の機器の借り上げ料と空調設備の設置工事請負費、南部小学校教室棟ベランダ補修工事請負費であります。スクールバス運行費です。今年度の実績に応じた金額を要求額としています。小学校管理諸費の学校支援センターについては、コロナ対策として消耗品費を増額要求しております。次に中学校管理諸費です。3 年度の新たなものとして、都野中学校の空調の機器の借り上げ料と空調設備の設置工事請負費と生徒の安全確保のための竹田中学のグラウンドにある支柱の防護マットの取り付けです。スクールバス運行費です。今年度の実績に応じた金額を要求額としています。中学校管理諸費の学校支援センターについては、先ほどの小学校の時と同様、コロナ対策として消耗品費を増額しております。幼稚園運営費については、例年通りであります。単価等の増により全体として増額要求しております。以上です。

吉野教育長

はい。続きまして学校教育課お願いします。

渡邊学校教育課長

はい。5 ページをご覧ください。学校教育課です。まず歳入ですが、当初予算要求額としまして 3155 万 6000 円ということになっております。比較をしまして減額されたものを書いてありますが、防災教育モデル事業が本年度終了ということ。それから、ふるさと竹田応援基金繰入金につきましては、来年度は人材育成海外交流事業を実施しないということを決めましたので、報告しておきます。歳出をご覧ください。特に比較をして増えているところを説明していきたいというふうに思います。まず、外国語指導助手招致事業費でございます。これまで教育総務課でまとめてあげていた社会保険料等も含まれているということ。それから、来日後の新規の A L T の滞在がこれまで 3 日間だったものが、2 週間ホテルに滞在して様子を見るというようなことでございますので、増額しております。また 2 段目の教育相談推進事業費は、サフラン教育支援センターサフランの支援員でございます。大変児童生徒が増えておりますので、サフランのスタッフ 3 名は同じですが、今まで 3 名とも週 3 日間の勤務でしたが、そのうちの 2 人については 3 日から 4 日に増やして支援をしていきたいと考えております。続きまして、一番下の特別支援教育総合推進事

業ですが、増えている部分につきましては、体幹の弱い子どもたちが多いため、幼稚園に作業療法士の方に入っていただき、指導をしていただくということで、3園とも3回分を入れております。6ページのスクールソーシャルワーカー活用事業です。スクールソーシャルワーカーは、家庭に対しての支援ができる方でございます。今2名ですが、やはり対象の家庭が増えているということで、3人に増やしたいので1人増えたということでございます。小学校体育保健費の中では、結核が疑われる児童生徒が出た時の検査等の費用をあげております。増額しております。続きまして、小学校教育振興諸費につきましては、スクールサポートスタッフ、学習指導員ともに今年度より増やして計上しております。それから下の方にありますが、中学校教育振興諸費につきましては、教科書採択により新しい教科書を来年度から使用しますので、指導書等の費用が入っております。それから、教師用のデジタル教科書も数学と理科で購入をしたいと考えます。続きましてフリースクール事業です。そこには適応指導教室、サフランのパソコン等の費用をあげております。以上になります。

吉野教育長

続きまして、生涯学習課お願いします。

足立生涯学習課長

はい。生涯学習課です。歳入からいきます。教育使用料については、前年度と変わりございません。利用者が少なくなったということで若干の要求額の減となっております。県教育費補助金は、放課後こども教室、雑入の中で、500万ほど増えておりますけど、これはその他の部分です。LED照明、B&G体育館のB&Gからの補助で、雑入に受け入れております。歳出ですが大きく変わったところのみを説明させていただきます。8ページの人権同和教育費、3、4、5の事業でございますけど、これは社会保険料、備品のパソコンの購入ということで上がっております。続いて、10、5、3(350)公民館分館事業ですが1100万ほど減っています。昨年度は工事請負費で宮城分館体育館工事がありましたので、その分が減額となっています。公民館運営事業費収支所については、工事費の追加です。

久住公民館運営事業費は、委託料の部分の減、これは建築物定期検査を市役所の方で行いましたので、60万ほど減っております。

続いて、9ページにつきましては、佐藤義美記念館の運営管理費が66万ほど増えておりますが、これは、エレベーターの制御盤の取替工事です。あ祖母学舎は、修繕費が減額になりましたので100万ほどの減額です。簡易宿所ドイツ村簡易宿所ですが、これにつきましても工事請負費、令和2年度でエアコンを4台設置した分の減です。

体育事業の10、6、2(397)総合運動公園の運営管理費は、かなり金額が大きくなってございますが、これはテニスコートのLED工事の予算要求分です。飛田川グラウンドは、周りにあるイチョウの木がかなり大きくなってございます。22本ほどありますが、その上部の方の伐採ということであげています。402直入の体育施設は、テニスコート2面ございますけど、人工芝の部分張りかえの補修ということで300万ほどアップとなっております。海洋センター運営管理費はB&Gの体育館ですが、LED化ということで、金額が1200万ほど増となります。次に、偉人漫画制作活用事業ということで、これはB&G財団の偉人漫画制作事業で300万あげてます。方法としては、いろんな形があるんですが、竹田市は田能村竹田先生を竹田の偉人として取り上げ作成していこうということで計上させていただいております。以上でございます。

吉野教育長

まちづくり文化財課お願いします。

古田まちづくり文化財課長

はい。まちづくり文化財課 10 ページでございます。まず、使用料収入は、前年度より若干の減としております。史跡岡城跡入場者数は、コロナ等の影響なども考慮しまして、6万人の一般客と、1万人の団体客という形で、2千万円の収入を見込んでいるところでございます。共通券については、今年度並みです。

それから、教育費の国庫補助金と、県の補助金が表中 2 段目と 5 段目に出て参りますが、基本的には中川家墓所や、岡城跡など、歳出でご説明します整備に当たり、各内容によりまして、対事業費国費 50%、県は 8%などの補助を見込んで、計上をしております。

続いて、商工費補助金です。建設課と協力いたしまして、支障木伐採の費用の一部に、魅力ある景観づくり推進事業の補助を充てているところでございます。

歳出に参ります。文化財保護事業諸費の工事請負費が若干増えております。これは、通常の石塔整備などに加えて、来年は納池公園の木橋の塗装を計画しております。お客屋敷や旧竹田荘、管理センター、おたまや公園等につきましては、基本的には今年度と同じ流れの要求となっております。

次のページに参りまして、1419 納池公園の調査事業でございます。先ほど申し上げましたが、来年度は事業 3 年目になります。国の 65%補助を受けて、令和 3 年度には、報告書を印刷する計画で予算を計上しております。

次の文化財保存活用地域計画策定事業、これは来年 2 年目の事業です。基本的には国 100%の補助で地域計画を策定するのでございます。報告書の作成のまとめ作業にかかって参りますので今年度よりも増額になっております。来年で内容をまとめて、再来年認定を受ける流れを計画しております。

その次の、中川家墓所保存整備事業でございますけれども、これはおたまや公園の竹垣でございます。イノシシ等にやられてかなり破損しているところもありますので、これを国の方に補助を要求しつつ計上をしております。

岡城跡管理事業費、かなり増額になっておりますが、基本的には今年、コロナの臨時交付金で取りかかっております南側伐採の継続で作業を行うということで、除草、伐採作業等の委託料が、昨年当初に比べますと、増額になっております。

それから、岡城保存整備事業費、これも来年度は、今年度に継続し、岡城の舗装作業の続きで桜馬場通路の舗装を行います。それから、料金所の後ろの崖部の石に危険はないかということで、気になっておりますので、国庫補助を取りつつ来年度その崖部の調査と設計まで行いたいということで、委託料を組んでおります。

市内遺跡につきましては、若干変動ありますが、これは基盤整備の箇所数等で金額が変動するものでございます。国 50%、県 8%の補助がでございます。

最後の文教施設災害復旧費でございますが、これは今年一度計上いたしました岡城跡の西の丸の落石、これを国の補助 70%を受け復旧する予定でございましたけれども、コロナの関係等で、まだ国から正式な交付決定が来ておりません。このまま行きますと、今年度の施行が間に合わないということから、補正で一旦減額しまして、来年度、改めての計上し実施しようという計画でございまして、国と協議し調整いたしました。

まちづくり文化財課、以上でございます。

吉野教育長

はい、続きまして、歴史文化館お願いします。

佐藤歴史文化館長

はい。それでは12ページお願いいたします。歴史文化館です。歳入につきましては、入館料等の教育使用料、そして、観覧料やギャラリーの使用料等を計上しておりますが、約1万人の入館を想定して、積み上げさせていただきました。同じく、物品売り払い収入につきましても書籍やグッズ等の売り払いですが、今年度の状況を見ながら積み上げさせていただきましたので、今年度と比べると減額になっております。合計として、当初予算要求額が、453万5000円という金額になっております。歳出につきましては、事業番号390 運営管理費は事務担当の会計年度任用職員の報酬や光熱費、或いは施設関係の警備等の委託等ということで、1801万円を計上しております。事業番号391 学芸費は、学芸担当の会計年度任用職員の報酬やミュージアムグッズの開発委託料、歴史資料等の修繕費、歴史資料等の購入費等に充てるということで、1149万3000円を計上しております。事業番号392 特別展示事業は、重要文化財をお借りして竹田を中心とした特別展を準備したいと考えておりますが、そういう特別展等の展示品の輸送業務委託料や図録等の印刷製本費等を積み上げて763万円を計上しております。事業番号584 アーカイブス・講座事業費は、古文書等のデジタル化と公開のための事業費を積み上げて、199万6000円を計上したところです。合計として、当初予算要求額3912万9000円となっております。以上です。

吉野教育長

はい。続きまして、給食調理場お願いします。

後藤学校給食共同調理場長

はい。資料13ページです。歳入につきましては、保護者の方からいただく給食費負担金が、主な内容でございます。現年度としまして、支援学校、幼稚園、小中学校の園児・児童・生徒数や教職員数が、確定できませんので、予算編成時の、昨年10月末現在の人数で試算をしております。資料に記載しております3調理場を合わせまして、83,001千円を計上しております。それに、過年度の滞納分として50万円を見込んでおる状況でございます。歳入につきましては以上でございます。歳出につきましては、久住・直入・中央と分かれておまして、久住につきましては、消耗品、光熱費、修繕費等がございまして、これについては、前年度とほぼ変わりがございません。備品購入費につきましては、今回、検収場所にエアカーテン2ヶ所分の更新の要望で合わせまして、22万円の要求を、計上しております。久住調理場全体としましては、前年度対比60万円減となっております。直入調理場の方につきましては、久住の消耗品から、修繕費まで内容等、ほぼ変わりはございません。直入の全体としましては、前年度対比、5万9千円の増となっております。最後に中央調理場につきましては、3調理場及び施設整備の関係で、突発的な厨房機器等の軽微な修繕に対応する会計年度任用職員の方の報酬及び手当を、中央の予算の方で計上しております。こちらの方は149万6千円ということでまとめて計上している状況です。消耗品から、施設整備等につきましては、久住・直入の要求内容はほぼ変わりはございません。中央につきましては、修繕費277万9000円の中には、公共施設整備計画で、今回要望が出ておりますボイラーの修繕が、117万3千円ほど、入っておるような状況になります。3調理場の合計としましては、23万8千円の増となっております。以上でございます。

吉野教育長

最後に図書館お願いします。

後藤教育総務課長	はい。14 ページです。歳入についてはほぼ変わっておりません。歳出についても、中身については例年通りでございます。全体的に少しずつ金額が増額になっておりまして、そして違うところは、館長が会計年度任用職員ということで、今回図書館費の中で払うということで、その分の人件費で増えているということでございます。7 人の司書、館長合わせて 8 人で運営を行っていくということで、全体予算額として 44,365,000 円という予算額でございます。以上です。
吉野教育長	来年度を通して必ず必要になる経常的経費がここに盛られているというふうに考えていいですか。古田課長。
古田まちづくり文化財課長	はい。おそらくどこの課も、現段階で計画があるものについては、基本的に来年度必要なすべてについて、財源を計上していると思います。近々いったん内示があり、その段階で、急を要するものや絶対に経常的にこれは足りないというものに関しては、復活要求をかけます。それが 3 月議会の前の作業です。内示段階では、3 月に決定する予算は骨格予算なので、政策的な内容のものは市長選の後につけますというように色分けされるパターンになるんじゃないかと思っています。その部分については、今回、復活要求はしません。次の選挙後、政策的にどのように整理するかということで、再度要求をしたり、また中身が変わっていったりということもあろうかと思っています。
吉野教育長	つまり、来年度必要なものについては、全部ここに網羅しているというふうに考えていいわけですね。そういうつもりで聞いてください。それでは改めて質疑を受けます。教育総務課についてありませんか。
吉野教育長	姫野委員。
姫野委員	数字の大きいところだけだしますけども、歳出の部で、教育委員会事務局費について、これは今回も資産管理システムとか 1000 万円以上の予算をあげているものがありますが、前年に対して 2000 万ぐらいのマイナスになっています。昨年が何か大きなものがあつたんでしょうか。次のページ 3 ページの小学校管理諸費も 1000 万ぐらい前年に比べて少なくなっていますが、前年が何か多いのがあつたのか。その他に学校訪問の時に、いろいろ要望が出ていて細かい修理や屋根の雨漏りとかそういったものが随分出ていましたが、その辺はどこかに盛り込まれているんですか。
吉野教育長	教育総務課長。
後藤教育総務課長	はい。最初の教育委員会事務局費の中の資産管理システムと施設台帳ということで計上しております。これは新た要求で、資産管理システムとは何かということですが、資産管理システムというのは、誰がどのような扱いをしていたかということが残っていくシステムで、要は使い方は良くないとか何かが発生した時に、そこを追いかけて見られるという管理をするためのシステムで、その委託料が必要ということと、施設台帳システムというのは、学校の施設にあって、いつ建てられた、いつ修繕したかというデータを、どういったことを過去にやったのかというのがわからないので、すべて台帳の中で、データの中で

整理していこうというものであります。マイナス 1900 万円の部分は何かということですが、これは当初予算との、前年度の当初予算との比較になります。昨年度は、会計年度任用職員が始まったということで、その共済費とかを大きく予算の中で上げておりましたが、実績が見えてきましたので、その部分で、要求額が、減額になったというところの大きなものはそこです。その差し引きのバランスが、この 1900 万円ということであります。

姫野委員　　そういうことだとは思っていましたが、決算というのはあるわけですよ。その数字がこの今年の当初予算要求額の目安になっているんですか。

後藤教育総務課長　　そうですね、はい。

吉野教育長　　もう 1 点、各学校から出ていた要求等については反映されてるかどうかということについて。教育総務課長

後藤教育総務課長　　反映をするようにはしていますが、全体の竹田市の予算の中という部分もございますので、修繕料とかそういった部分で、一応頭出しではないんですけど要求をしています。例えば中学校管理費修繕料 450 万円、小学校管理費であれば 600 万円という感じで。その中で要求には応じていきたいなと思っておりますが、ただその全体要求額がそれで満たしているかどうかということとそうではないので、そこで見積もりを取ったりしながら、優先順位をつけてやっていきたいと思えますし、もし足らなければ、その時は補正にて要求しながらですね、学校の危険度、そういった子供たちの安全性を保つために、そういったところを要求しながら対応していきたいと考えております。

吉野教育長　　姫野委員。

姫野委員　　毎年学校訪問の中で、毎年要求しているという声もあったりするものですから。B&G の LED の問題とかでかなり金額を当てているわけですから、そういった子どもが直接関係して困っていることには、優先して予算を割り振ったほうがいいのかと思います。

吉野教育長　　教育総務課長。

後藤教育総務課長　　一応、大きくわかっている、これは危ないなというのは、修繕料とは別に、小学校であつたら南部小学校のベランダのところクラックがあつて、そこから凍結とかしたりすると落ちる可能性があるというところで、今年は別枠で予算の要求をしていると、菅生についても外壁の件もあるので、今年は工事ではないですけど、設計委託をして次のステップに行くようには別枠で要求しているということでもあります。

吉野教育長　　精一杯対応しているということでよろしくお願ひします。他にないですか。次に学校教育課についてありませんか。次に生涯学習課についてありませんか。次にまちづくり文化財課についてありませんか。次に歴史文化館についてありませんか。

吉野教育長	姫野委員。
姫野委員	歳入の入館料とかの部分で、昨年ずっと閉館してはいますね。先ほどと一緒だと思んですけど前年当初予算が 270 万ということであり、今年の当初予算が 210 万 4100 円ということですが、それとあわせて、支出の部で前年と比べて管理費等が随分落ちてはいますが、この辺の試算をしたことについて先ほども少し話されましたが、もう一度。
吉野教育長	歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	はい。入館料に関しましては、入館について昨年度の想定と開館以降の状況を見ながら、来年度は 1 万人の入館が見込めるのではないかとこのところ金額をはじいたものになります。今年度はもっと入るのではないかという思いもあったのですが、コロナ禍の関係もあってなかなか伸びていないので歳入が減額になっております。歳出で運営管理費等が大幅な減額があるのは、開館にあたってかなり積み上げなければならぬものがありましたが、2 年目になりますので金額が減っているという状況です。以上です。
吉野教育長	はい、次に給食調理場についてありませんか。
吉野教育長	姫野委員。
姫野委員	歳出の部で、中央調理場は調理配送委託料というのが発生したり、会計年度報任用職員酬、職員の手当というものがありますが、久住と直入にはそういったもの人件費と思いますが、どこになるのでしょうか。
吉野教育長	給食調理場長。
後藤給食共同調理場長	会計年度任用職員につきましては、中央の予算にまとめて計上しています。内容は、先程若干申し上げましたように 3 調理場の施設の設備や、厨房機器等の軽微な補修業務等に携わってもらっております。ご理解をいただきたいと考えております。それと調理及び配送業務委託料につきましても、中央の予算の方で令和 3 年度は 8478 万 7000 円で、これは現状でいけばわかばさんという形になります。そちらの方もまとめて中央調理場で予算組みをしており、実際の調理・配送については、それぞれ 3 調理場で行っています。以上でございます。
吉野教育長	他にないですか。最後に、図書館についてありませんか。
吉野教育長	姫野委員
姫野委員	歳出の部で会計年度任用職員報酬手当共済費とありますが、そこに館長と書いてありますが、館長は市の職員の方ではないんですか。
吉野教育長	教育総務課長。図書館長も変わったんですね。

後藤教育総務課長	館長は今年の4月から会計年度任用職員となっています。OBの任用です。
吉野教育長	管理しているのは教育総務課長ということです。いいですかね。
姫野委員	わかりました。
吉野教育長	令和3年度の竹田市教育費予算については、これをもって要求をしていくということで、必ず必要なんだということを改めて要求しなければというふうに思いますので、これで了解をしていただけますか。
吉野教育長	姫野委員
姫野委員	生涯学習課の滝廉太郎記念音楽祭開催費505万です。非常に予算をかけてやっている割にはこの認知度とかそういったものが、全国から来ていただいて音楽家の登竜門でもう70何回もやっているのに、大会にしては関心が低いというか周知がなされていないんじゃないかと。駅に来る時、極端に言えば、電車が来たときに歓迎するものとかあればそういった盛り上がりがあるんでしょうけども。去年とかずっと見て感じておりまして、結構予算的にも大きいのでその辺の対応というものを早急に考えられたらと思います。
吉野教育長	はい。生涯学習課長。基本的な厳しい指摘ですね。
足立生涯学習課長	はい。今、姫野委員が言われたように、生涯学習課としても、見に来るお客さんといいますか観客の方が非常に少ないというのは、前から非常に気になっているところがございます。来年度は75回の記念大会ということで、505万ほどを計上させていただいています。実行委員会もでございますので、その中でどうやって誘客をしていくかとか、そのあたりも毎年お話をさせていただいてますが、なかなかそういう起爆剤がないという部分もでございます。今後、少しでも多くの方に周知ができるように努力していきたいというふうに考えております。また、いい案等がございましたら、お聞かせいただければと思います。
吉野教育長	随分努力を重ねてきてかなり盛り上がってきているんですが、コロナ禍でまた盛り上がり落ちたという感じですね。また体制を整えて頑張っていかなければというふうに思います。よろしいですか。はい。それでは議題第1号についてはご承認願いますでしょうか。 「はい。」の声
吉野教育長	ありがとうございました。続いて報告事項に移ります。本日の報告事項は2件です。はじめに本日配付しました追加議題の報告第2号竹田市スポーツ推進委員会からの答申についてを先にお願いをしたいというふうに思います。生涯学習課長。
足立生涯学習課長	はい。報告第2号竹田市スポーツ推進審議会の答申についてでございます。令和2年10月5日令和2年竹田市教育委員会第10回定例会の提出議題第42号で、竹田市スポーツ推進審議会への諮問、竹田市総合運動公園陸上競技場トラ

ック部分の舗装改修についての答申をいただきましたので、報告をさせていただきます。諮問事項につきましては、陸上競技場の改修に関する3点ということでご説明をさせていただきました。まず一つ目が、舗装材及び公認競技場の必要性ということです。その中で、こちらの方から現況の説明、舗装材の説明、公認競技場の説明をさせていただきました。その中の答申、お答えとしましては、舗装材については、ウレタンチップ系として、公認競技場は必要としないという答申をいただいております。二つ目に、小中高大学生一般選手の利活用の向上に向けた方策についてということで、現状のご説明をさせていただきました。その中で委員さんの方からは、竹田市の陸上競技協会と協議をしながら、記録会等を開催してもらいたいという意見をいただいております。三つ目に、スポーツ合宿の誘致についてです。現在の合宿の傾向、それから屋内競技場の要望。大分スポーツコミッション設立の説明をさせていただきました。審議委員さんからは、積極的に合宿の誘致をしていただきたい。その中からですね、審議員さんの中からは、積極的な誘致のためにも、雨天時に、練習、対策ができる施設整備も必要と考えますという意見もいただいております。以上、陸上競技場の改修につきましては、原案の通り改修について認めるという答申をいただいております。以上報告を終わります。

吉野教育長

前々回ですかね、生涯学習課長が材質等を見せながら、これでやっていったらどうかということを諮問するという議題がありましたが、その答申が審議会から出ているということです。提案どおりウレタンチップということ、それから、陸協と相談して今後も記録会をしてくださいということ。スポーツ合宿については誘致を積極的にしなさいということで、提案のとおりにお返事を受けたというようなことでございます。

吉野教育長

生涯学習課長

足立生涯学習課長

はい。この財源について、少しご説明をさせていただきます。令和2年度、国の第三次補正予算で、都市公園等の整備を通じた経済対策や、防災、減災、国土強靱化対策で、四つの柱が示されております。その中の防災安全交付金、柱の3というものになりますが、都市公園の老朽化対策で今回、財源の要求をしておりますところでございます。本来であれば、この事業につきましては、令和3年度当初予算で計上予定をしておりましたが、国から令和2年度の補正で要求して欲しいという通知がございましたので、後程出てきます12月補正で計上させていただきました。この交付金の要求には、都市公園の長寿命化計画を策定しているという要件がございまして、竹田市は平成31年3月に長寿命化計画を策定していますので、要求ができたということになります。総事業費が約2億8000万で、交付金、2分の1ですね、50%を見込んで申請をしております。しかしながら全国的に多くの自治体がこの交付金を要求としているとの情報から、この要求額については満額ではなくて、交付金の減額が、想定をされてる状況でございます。2月中旬あたりに、内示、国からの内示がございまして、今はその内示待ちという状況です。以上財源について説明を終わります。

吉野教育長

はい。陸上競技場の補修等については、補助金を待って、答申の通り頑張っていきたいということです。いいですか。ありがとうございます。それでは、報告

第2号スポーツ推進審議会の答申等についての質疑を終わりました。次に、第1号に戻ります。第1号令和2年度竹田市教育費予算12月補正についてです。これは、12月の議会終わっているわけですから報告ということになりますが、各課ごとに説明をお願いしまして、最後に質疑を受けたいと思います。教育総務課長からお願いいたします。

後藤教育総務課長

はい。報告第1号でございます。令和2年度竹田市教育費予算12月補正であります。今教育長が言われました通り、12月議会の定例会において、最終日に承認を得られましたので説明をさせていただきます。まず1ページの総括表です。その内容については教育委員会内での全体補正要求額を記載しております。表の通りの歳入歳出とも、要求額の合計となっております。それでは各課ということでもありますので、まず私の方から教育総務課予算について内容を説明させていただきます。歳出についてでございます。長期総合教育計画審議会において、8月の段階で、学校幼稚園配置部会の設置が承認をされたことで、そういう関係上、謝礼が必要となりましたので、その分を、報酬等の組みかえをいたしまして、予算を計上しております。小学校管理費については、荻小学校と久住小学校の農業集落排水の使用料が年度末において不足するという恐れがあるため増額補正をしております。工事費については、白丹小学校の空調設備を今年の夏、設置をしたわけですが、その分について他の予算において、執行をしておりましたから、今回正式にその工事費を計上しているところでございます。小学校管理費の学校支援センター分については、これも9月補正で、コロナの感染対策の中で、1校につき100万円というのが議会で承認されたけれども、具体的に各学校から使用の見積もり、見込みができて参りましたので、それを備品購入費と消耗品において、組み替えを行ったものでございます。中学管理諸費並びに支援センター分については、内容については先ほどの小学校管理費と同様の内容となります。ただ空調設備においては、中学校については都野中学校が対象となっております。以上です。

吉野教育長

学校教育課をお願いします。

渡邊学校教育課長

はい。お願いします。学校教育課です。3ページ、ご覧になってください。歳入については、そこにある通りでございます。歳出につきましては、防災教育モデル事業実践事業につきましては、費用弁償ではなく消耗品費で、主な内容のところにあげております、というふうに変更になりました。実際には、研修等に行けず、校内での研修が増えたためというふうになっております。また、小学校教育振興諸費につきましては、学習指導員、スクールサポートスタッフ等の利用が増えている。そして中学校の教育振興諸費につきましては、学習指導員、スクールサポートスタッフの報酬が減額というふうになっております。これは教員免許を持った方を要望しましたが、学習指導員に免許を持っていない方を採用しましたので、そういうところで減額をさせていただいてます。また、採用の月日が予定より下がってしまったというふうなことでございます。以上です。

吉野教育長

生涯学習課をお願いします。

足立生涯学習課長

はい。生涯学習課は歳出より説明をさせていただきます。コロナの感染症の影

響で、各種事業等が中止、それから出張等がなくなっておりますので、その分の減額をしております。主なところで350の事業を219万7000円の増額ですけど、これについては、工事請負費、宮砥分館のガラスの破損、明治分館の体育館の壁修理、菅生分館のトイレの雨漏り、松本分館のエアコンの電源引き込み100万です。松本分館の電源込みについては、歳入の方にコロナ対策の感染症の臨時交付金で100万も上がっております。続いて、久住支所の管理運営費ですけど、減額できるものは減額し、工事請負費で久住公民館前の側溝、水路が流れておりますが、その水路が割れておまして、水がかなり漏ってるので、この部分の側溝の改修工事をあげております。5ページにつきましても、事業が少なくなった利用が少なくなったということで、減額した部分です。また、各競技も中止になった部分がありますので、その部分については減額しております。総合運動公園の運営管理費です。ここで一番大きなものとしまして工事請負費2億8102万3000円です。この陸上競技場の改修で、先ほど説明しましたが歳入で、この2億8100万の2分の1を補助金ということで見込んでおります。1億4050万。そして1億4050万の95%を合併特例債の事業ということで1億3340万ということで計上しています。学校開放事業は、直入中学校のグラウンドの照明の修繕です。以上、生涯学習課について12月補正の説明を終わらせていただきます。

吉野教育長

まちづくり文化財課お願いします。

吉田まちづくり文化財課長

はい。まちづくり文化財課は基本的には、要求の通り決定しております。文化財保存活用地域計画の策定に当たりまして、これは具体的には、電子地図が必要になりましたので、購入する予算を旅費から組み替えております。それから、竹田荘の草際吟舎の南側の修繕工事に82万5000円の増額ということで認められました。以上でございます。

吉野教育長

歴史文化館お願いします。

佐藤歴史文化館長

はい。7ページをお願いします。歴史文化館です。歳入は変更ありませんので、歳出についてですが、10款5項12目の事業番号390番の歴史文化館運営管理費について光熱費が想定より多くかかることが判明しましたので、施設設備等保守点検を切り詰めることによって130万円減額し、光熱水費を130万円増額するという組み替えをさせていただきたいと考えております。以上です。

吉野教育長

学校給食共同調理場お願いします。

後藤学校給食共同調理場長

はい。歳入の方からです。歳入については、先般と変更はございませんが、幼児教育無償化の関係の給食費の副食分の減額分でございます。直入の分と中央管内の竹田幼稚園、南部幼稚園の分の減額の分がそれぞれでございます。歳出の分につきましては、変更等がございませんが、中央管内の自動車重量税の分が、先般、11月の分で定例会の分でご指摘をいただいた通り公課費が抜けておりましたので、23,000円という形で、先般12月の方に計上させております。以上でございます。

吉野教育長

それでは各課の報告について質疑を受けたいと思います。教育総務課について

ありませんか。
学校教育課についてありませんか。
生涯学習課についてありませんか。
まちづくり文化財課についてありませんか。
歴史文化館についてありませんか。
学校給食共同調理場についてありませんか。
それではないようですので、報告第 1 号についてはお認めいただきますでしょうか。

(「はい。」の声。)

吉野教育長

ありがとうございます。それでは報告第 1 号の承認を終わりたいと思います。次に、協議事項はありませんので、連絡事項について教育総務課長お願いします。

後藤教育総務課長

それでは私の方から連絡事項を説明させていただきます。まず開いていただいて、(1) の 1 月の幼小中の行事予定表であります。開いていただきまして、まず、8 日 3 学期の今日ですね、始業式であります。同日、久住中並びに直入中で、百人一首の大会が行われます。13 日、新春遊び集会在豊岡小で、そして避難訓練が久住小で行われます。14 日、お正月遊び大会が南部幼稚園、直入幼稚園で行われ、15 日ヴァイオリン出前コンサートが豊岡小で、同日、避難訓練が南部小、白丹小、南部幼稚園、直入幼稚園で開かれます。また、お正月遊び大会が竹田幼稚園で開かれます。18 日竹田小、菅生小にて避難訓練。19 日、荻小で新春遊び集会。20 日、損保ジャパンダ体験学習を豊岡小で行います。21 日、荻小で避難訓練、百人一首大会を緑ヶ丘中学で、読み聞かせ会を都野中学で行い、22 日は、城原小で避難訓練、ニューイヤーフエスタを白丹小で行います。26 日、都野小で避難訓練、28 日、収穫祭を豊岡小で、租税教室を直入小、久住校で、ソーセージ作りを都野中学で、南部小 1 年生との交流会を南部幼稚園で行います。以上です。続きまして、(2) の教育委員会関係日程予定表でございます。3 ページです。4 日仕事初め式が行われました。8 日令和 3 年竹田市教育委員会第 1 回定例会です。13 日第 13 回校長・所長会議、14 日竹田市標準学力調査、19 日第 4 回長期総合教育計画審議会、22 日 B&G 全国サミット、これについては欠席です。25 日令和 2 年度第 3 回大分県市町村教育長会議、26 日文化財保護調査委員会、28 日定例課長会議です。最初のページに戻っていただきまして、今後の主な予定です。①令和 3 年竹田市成人式、これにつきましては、延期となりました。②第 2 回の教育委員会定例会については、2 月 10 日水曜日、13 時 30 分開会でございます。同日、15 時 30 分から③の令和 2 年度総合教育会議を開催します。場所は両方とも庁議室で行いますので、よろしく願いいたします。④教育委員会第 3 回定例会、3 月 4 日木曜日、15 時開会でございます。場所は 2 階の庁議室です。⑤⑥⑦については、幼稚園、小学校、中学校の卒園、卒業式が記載している日程で行われますので、よろしく願いいたします。以上です。

吉野教育長

2 ページの 1 月行事等。当然のことですが、もし教育委員の皆様がこの行事に参加したいというのがあれば、ご連絡をいただけたら照会を学校にしたいと思っておりますのでお願いします。3 ページ。この B&G は欠席ではなくて中止になったんで

すね。

足立生涯学習課長

今日中止になりました。

吉野教育長

中止になりました。非常事態が出ている東京の行事です。それでは1ページのところですが、卒業式に関して学校教育課何かありますか。

渡邊学校教育課長

今年度入学式同様、卒業式は来賓招聘はしませんが、教育委員の皆様には立ち会いをお願いしたいと考えております。保護者をお2人とも呼ぶのか、在校生は何年生か、全校を参加するのか等は各学校の人数、体育館の大きさ等がかんがみて、学校長の判断にゆだねるつもりでおります。この件については、来週、1月13日の校長所長会議で決定したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

吉野教育長

まだコロナがどういうふうになって行くかということがありますので、今のところだということでは頭に置いておいていただきたいと思います。連絡事項についてよろしいですか。各課からの報告で関連した形で発言しても結構でございます。それでは各課からお願いしたいと思います。教育総務課長。

後藤教育総務課長

はい。教育総務課です。前回の定例会の中でアンケートの結果ということで、今後の学校のあり方アンケートの結果についてはお配りしましたけれども、12月4日に承認いただきましたホームページで公開をしております。その結果については、今月の終わりから、来月にかけてその対象校である保護者の代表の方にまずは、その結果の報告というところをしていきたいと考えております。そしてまた教育長報告の中でございましたけれども、長期総合教育計画の審議会が第3回まで開かれております。答申の案について審議委員の皆様方と協議をしたところでございます。そして今月の19日に第4回を開催いたしますが、その時に、さらにもう一度、意見をいただきながら内容に組み入れていきたいと考えております。以上です。

吉野教育長

はい。学校教育課ありますか。

渡邊学校教育課長

はい。本日、すべての幼稚園、小学校、中学校で新学期がスタートされました。雪の影響で、休校や登校を遅らすという対応はなく、また事故の報告もなく、いいスタートが切れました。また3学期は高校入試もあり、小中ともに、学年のまとめの時期でもあります。感染症予防をしながら、しっかりと学びの総まとめを行っていきます。以上です。

吉野教育長

はい。生涯学習課お願いします。

足立生涯学習課長

はい。生涯学習課からは、成人式の延期について説明をさせていただきます。12月の教育委員会の定例会で、令和3年の成人式は予定通り実施の方向で進めて参りますと、説明をさせていただきました。しかしながら、昨年末の12月26日の時点で、竹田市と豊後大野市を除く他の市町村は、延期またはリモートでの開催という方針が出されておりました。竹田市としましても、一生に一度の成人式を何としてでも行いたいと、策を練りながら開催に向けて模索をしてき

ました。しかしながら、コロナウィルスの感染症の拡大が収まらず、12月28日に、市長を交えて協議した中で、夏に延期するという苦渋の決定をさせていただいたところでございます。成人者の皆さんや関係の皆さんには大変申し訳ない決定となりました。延期についての通知を12月28日付でお送りをさせていただいたところでございます。ただ、着物のレンタルや美容室への予約のキャンセルができない方へは、ほんのささやかな対応とはなりますけど、生涯学習課の職員で手づくりの縦看板と、背景のブースを作成して、写真撮影ができるように、また密にならないようにということを考えまして、本庁そして荻、久住、直入の支所の玄関ロビーに設置をするようにしました。これについては竹田市ホームページのお知らせの欄でも出させていただいております。生涯学習課の職員が本日午後4時から設営に行っています。また成人者の実行委員さんがおりますが、意見を聞いて指定したInstagramにハッシュタグをつけて、晴着姿を投稿してもらい、同級生や保護者の方々に、見てもらう方法も考えております。これについては実行委員からも、やってもいいという話が出ましたので、当日来られた方には、その説明して、見ていただくよう準備を進めています。夏の成人式の日程につきましては、決定しておりませんが、感染症の状況見ながら、実施に向けて取り組んでいきたいと考えておるところです。もう一つ、ケーブルテレビから、ケーブルテレビのメールアドレスに、撮影した写真を送ってもらえば、成人特集として、1人5秒程度紹介をしたいということで先ほどお話をいただきましたので、それにつきましても、メールアドレスとQRコードは、皆さんがたにわかるように配布等をしたいと考えております。以上でございます。

吉野教育長

はい。まちづくり文化財課長ありますか。

古田まちづくり文化財課長

はい。城下町のお客屋敷は、指定管理としておりますけれども、次の3月で、一旦の管理期間が終わります。現在、ホームページにおきまして、「公の施設の指定管理の指定手続きに関する条例」に基づいて、公募を開始いたしました。1月12日から、1か月間、2月の12日まで、募るといような形です。今後、商工会議所等関係機関には、別途またご連絡してお知らせするような形を取りたいというふうに思っておりますが、そのようにして、次年度から3年間の指定管理者を募集しておりますので、お知りおきいただければと思います。

吉野教育長

はい。歴史文化館お願いします。

佐藤歴史文化館長

はい。現在、「豊後南画に魅せられて」展を行っておりますが、これが1月17日までとなっております。市民ギャラリーでは、明日から1月17日まで「古田宏の遺作ときつつきの会の版画」展を開催することになっております。それらが終わって、展示替えをして、1月22日から「隈研吾の建築×竹田の建築」展がスタートすることになります。PRの仕方等もいろいろ工夫しながら、より多くの方にご覧いただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

吉野教育長

次に、給食調理場ありますか。

後藤学校給食共同

報告です。本日が始業式ということですけど、雪等での給食の配車の遅れが心

調理場長	配されましたが、委託業者さんのご努力によりまして、無事、配送ができました。ありがとうございました。
吉野教育長	ありがとうございました。図書館ありますか。
後藤教育総務課長	図書館はですね、12月に各スタッフとの面談をいたしました。その中で、やりがいというところを前面に出して、素晴らしいスタッフに恵まれているなというふうに考えたところでございます。昨年は20万人を超えての来館者を達成したということでありますので、今年についても感染拡大防止対策というのを徹底しながら、多くの皆さんの本の貸し出しを通じて、城下町という立地を生かしながら、まちのにぎわいの創出に繋がるようなことを努めていけたらなと考えています。
吉野教育長	最後に、志賀教育理事ありますか。
志賀教育理事	まず、GIGAスクール構想についてです。12月の議会本会議において、改めて構想そのものについて説明を求められました。今後ICT活用推進委員会では、竹田市が目指すICT機器を活用した授業像を見据えたアプリケーション選定を進めていくこととなります。2点目は、社会文教常任委員会が出された意見についてです。学校の在り方に関する討議の中で、いずれ統合もやむを得ないとしても、市が移住定住を進める上で、その土地の魅力を発信するだけでなく、教育を生かしたPR、竹田で受けられる教育、竹田の教育の魅力を発信すべきという意見が出されました。非常に大事なことであると同時に、竹田市の課題でもあると感じました。3点目は、竹田市の文化ホールについてです。昨日、グランツ事業の相談の際わかったのですが、文化ホールの利用率は、平均的に人口の1%程度であるのに対し、竹田市はその4分の1から5分の1しかないという実態があるそうです。このことは、市民の文化レベルが低いということではなく様々な要因があるそうですが、いずれにせよ、他に誇る文化ホールを市が有していますので、気軽に文化・芸術に親しむ環境整備も必要かと考えます。以上です。
吉野教育長	ありがとうございました。それでは今各課長から近況報告課題等について述べられましたが、これについてお気づきの方はどの部分でも結構ですので、質疑を受けたいと思います。賀籠六委員。
賀籠六委員	アンケート結果のことについて、ホームページに記載して何か保護者からの意見とかそういうものがあつたのかということを知りたいのと、その保護者の代表の方への各学校での説明ということでしたけれども、何名程度かとか、その役員の方が対象なのかとか、そこら辺がわかれば教えていただきたいです。
吉野教育長	一問一答で行きましょう。教育総務課長。
後藤教育総務課長	アンケートを公表したことについて意見があつたかということなんですけど、直接は関係者、市民の方からそれに対しての問い合わせというのは、今日までございません。そして、アンケートの結果報告について、何名程度かということなんですけど、先ほどの説明の中で、今月の終わりから来月にかけて対象となる学校のPTAまずは役員の皆さんに説明に行きたいと考えております。その

旨を学校側に伝えて、その役員会がある日に合わせて私たちが出向いて、まず報告をさせていただくということをしていきたいと思っています。

吉野教育長

姫野委員。

姫野委員

先ほどの連絡事項のこともいいですか。

吉野教育長

はいどうぞ。

姫野委員

はい。バイオリン出前コンサートというのがあって、私も16日にバイオリンコンサートに行くようにしています。去年年末にピアノのスガダイローさんに行ったときに、学校に来られて、何かこう見せてもらったようにあるのですが。グランツとかで催される日本的に有名な方の本当にありがたい取り組みだと思うのですが、学校に行ってもらっているのか、学校のどこに配置するのかとか、わざわざ来てくれるのであればその本物のコンサートが16日にあるわけですからもっと周知したりするようなこととかですね。学校への出前について、その費用というかそういうのも発生するのかとかその辺はいかがですか。

吉野教育長

はい。学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。アウトリーチ出前授業につきましては、グランツから紹介がございます。毎月、周知の仕方については、定例で行われております校長、所長会議でお知らせがあり、それについて、日程等で呼ぶことが可能な学校が手を上げて、グランツに直接交渉している次第です。このバイオリンの方については、昨年度は荻小の方に行っていたいただき、本年度は豊岡小ということになっております。調整はグランツの方でしていただいております。そういう機会を与えていただいておりますので、積極的に学校の方も手を挙げているというふう聞いております。また、生かしていきたいと思っています。

吉野教育長

費用はないですか。

渡邊学校教育課長

費用は、学校が持つというようなことはございません。

吉野教育長

佐藤委員。

佐藤委員

先月の会議でアンケートの詳しい結果いただいたんですけど、家でゆっくり読んできて、長期総合審議会の第4回があるのと、理事がおっしゃられた学校のあり方っていうのがあったんですけど。今からいろんな段階を踏んで、いろんな決定をされていかれると思うんですけど、方向性として、今の段階でどういう方向性でいくっていうのが決まっていることがありますか。

吉野教育長

教育総務課長。

後藤教育総務課長

アンケートをまず実施しました。そして長期総合教育審議会計画の審議会また部会の中でもその結果を提示しながら新たに令和3年度から策定する5年計画の中での、その小学校の配置のあり方、中学校の配置のあり方というところを、

答申案というのを今協議しています。それが最終的に答申としてまとめれば、それをもって、次に計画を作っていくという形になりますから、今協議しているというところでございます。

吉野教育長

アンケートについては子どもが 20 名以下の学校或いはそれに近く存続が気になる学校についてアンケートを取ってみようということ。それから、市のトップ懇談会で久住から出されたのですが、中学校は久住と都野と直入は一緒にしたらいいんじゃないかと。その場所も例えば都野に置いたらいいんじゃないかとか、竹田に一度に一緒にしたらいいんじゃないかとか。そういう意見があったのでそういう意見を全部吸い上げて、そしてこれからどういうふうにしましょうと。長教審の答申には保護者意見、地域の意見をしっかり聞いてほしいというようなことが出されているのでその通りにですね。まずは PTA の方にこういう状況だということの説明して、さあどう考えましょうかということですね。ただ、タイミングを逃したらですね。例えば宮城台みたいに統合には 2 年かかるって言うふうに言ったのですが、いやもう 1 年でやってくれというような話になるので、そういう統合のタイミングを間違えないようにですね、しっかりと学校と話していかなきゃいけないということですね。だから、その最初の段階の話を今度 2 月ごろに、まずもっていきいたいということで、それから具体的にどういうふうにするかっていうのが出てくるんじゃないかということです。いいですか。他にないですか。最後に教育委員の皆様から、前回の定例会から今回まで感じたことについてお話をいただきたいと思います。今日は順序を逆にしまして、佐藤委員から。

佐藤委員

アンケート結果の続きになります。高校に進学してから、学力的についていけないということが始まりで、人間関係であったり、部活動での上下関係であったりということで学校に行かなくなってという話をちょっと立て続けに 2 人ほどから聞いていて。そしてこのアンケートの結果を読むと、やっぱり保護者の方切実で、とにかくコミュニケーションを図るために早く統合して欲しいという、厳しい意見の中でも切実な思いっていうのはこのアンケート結果にあったと思います。ちょうどそれが同じ時期だったので、今後の方向性でいろんな段階を踏んでいくので時間がかかると思うのですが。ただ、保護者がやっぱり高校になると悩んでる。悩みが大きいというのがあるので、保護者と地域といろんなところで話し合いを進めながら行くんですけど、なるべくこう方向性っていうのは早く出すといいのかなというのを少し感じています。以上です。

吉野教育長

姫野委員。

姫野委員

年頭にあたり教育委員会としての今年の重点目標とかですね、取り組みというのか、聞かせていただきたい。それから去年から言われてる学力向上に対してと不登校の対策とかですね、その辺の学校とのやりとりとか学校のその思いというのが、年初にいつも学期末とか年度末とかにはあるんですけど、年初にあたって普通企業でもトップがこう方向を示します。そういった学校の取り組みとかですね、今年重要なのは ICT の部分とかありますけども。先ほどの話から統廃合の話にしても、アンケートの話が先にありましたが、今年はこの辺まで考えてるとかいうような大まかな指標とかそういうものがいつも年頭にあれば我々もそれに対して話ができるんですけども、今年市議会と市長とい

ろいろ任期の問題とかもありますのでその辺はありますけど、時間があれば、後日でもいいので。

吉野教育長

賀籠六委員。

賀籠六委員

コロナ感染症で立て続けに行事等の中止とか延期とかあって対応の方が大変だと思います。アンケートの結果についていろいろと周りの保護者から聞いたりする中で、学力の関係とか、ある学年でやる気がある子どもとその授業を妨害する子ども、1クラスしかないの足を引っ張られているので、分けて授業とかそういう感じができんのかなあというふうな相談を受けたりする中で、やる気がある子どもをもうちょっと伸ばしていけるような環境づくりというのが大事じゃないかなあというふうに思ったことがあったので、そこら辺の対応の方よろしくお願ひしたいと思います。

吉野教育長

吉野委員。

吉野委員

今年度、学校やその公民館とかも含めて、予定されていた講演会とか講習会とかの類で、実施できなかったのでパンフレットを配布しますということがいくつかあったと思います。そういうのを読んでみましたが、例えば二つ、これは小中学生に配られたんじゃないかと思うんですけど人権関係のもの、あと直入中学校ではネット関係の講演会をしてくれる予定だったのですができなくなって、代わりにパンフレットをいただきました。ゆっくり見てみると、その年齢に合わない部分があったり、これをみんな家で各自見るかなあと考えたらちょっと浸透はしにくいかなあと思ってしまったんです。いつかその講演会が実際に実施できれば、その集団だけ数十人を対象に生で講演ができればなおとてもいいんだろうけど、それがまたいつできるかもわからない。それでちょっと思い出したのが、夏に「みんな同じ命の重さなのに」というケーブルテレビで人権関係の番組があったじゃないですか、ああいう感じで小中学生の保護者向けに、ネットとの付き合い方、スマホの扱い方、ゲームに関して、今どこの学校も多分悩みは同じようなことじゃないかと思うので、以前県の教育委員会から派遣された方を直入小学校でネットの関係の講演聞いたときとてもよかったんですよ。こういうのがケーブルで何回か放送されればいつかは見れるかなあと思ったり、それをまた見ることでそのあとに集まるときに話題にできれば、共通認識ができていいのかなあと思ったりしたんですけど。そういうことが教育委員会主導でできませんかということです。

吉野教育長

あらゆる手だてを使ってやっていくというのはこの、コロナ禍の中では、もともと私たちが戻らなきゃいけないことというふうに、肝に銘じて対応したいというふうに思います。さて、佐藤委員からと賀籠六委員からの、ここはそれぞれ違うんですが学習に対しての悩みと、学校のあり方とか繋がっていている議論ですが、これについて何かありますか。話せば、一日経っても収まらないと思うんですが。理事。

志賀教育理事

高校に進学して多人数になると学校に行きにくくなる生徒がいる、ということがあられるかもしれません。生徒が学級を選ぶというわけではなく、1学年1クラスしかないの、学級編成、クラス替えはないので、いわゆる人間関係のリセットはできま

せん。小規模校ではそういうデメリットはあると思います。学校の在り方に関するアンケートでは、統合を望む率が非常に高い学校もあれば、逆に統合賛成は20%ぐらいしかない学校もあります。ただ、もちろんアンケートの数字そのものは十分に、最大限に尊重しないとはいけません。最初に申し上げた、高校進学後の現状も考慮しないとはいけません。市議の中には、地域の声よりも保護者の声をまず一番に考えて欲しいという意見もあります。しかし、文科省の手引きが示しているのは、学校がただ単に学習する場、運動する場だけではなくて、地域コミュニティの核であるという点も尊重しないとはいけないということです。地域の声も聞くべきですし、一度統合してしまえば元には戻りませんので、統合した学校が、実際どういう状況になっているかも真剣に考えなくてはなりません。クラス替えによって人間関係をリセットすることができるかもしれませんが、大規模校では不登校が20人も30人もいる場合があります。そうすると、子どもは学校に行きたいけれども、行っても居場所がないということがあります。また、保健室に何十人も生徒が来ることもあります。他市のそういった現状も十分に調べた上で、様々な実態を調査した上で、学校統廃合は慎重に進めていかないとはいけません。ですから今、数字が出たから明日からすぐに取り掛かりましょうというわけにはまいりません。統合は絶対しないということではなく、いろんな要素を考え合わせた上で進めていくこととなります。

吉野教育長

まだ様々な意見があると思うんですが、もう一つ、姫野委員から、年頭に当たっての教育委員会の方針のようなものがないのかという、私に言われたようなものですが、言われてみればそうかなと思うんですが。年度当初ですね、改めてそれを出すかなあという感じでもうちょっとお待ちいただけたらと思いますが、教育総務課長、何かありますか。その次学校教育課長。はい。方針を言います。

後藤教育総務課長

今、教育長言われたように年度の最初に示せば一番いいのかなとは思っていますけども、姫野委員がおっしゃられたように、大きなテーマがGIGA スクール スタートが令和3年度になります。そこについては、しっかりとした部分で、ICTの活用推進委員会も含めてですね、導入したはいいが、何もできないじゃないかということでは、何も意味がありませんので、そこはしっかりと両輪で進めていけるような方針を出せたらいいのかなというふうに思っています。また統合アンケートの結果については、今月の終わりと来月に報告会をしますけれども、そこで終わりではなくて、その次に、100%のアンケート結果ではございませんから、見えてない、聞こえてない声というのでも出てくると思いますから、そこで、回数を重ねながら、じっくりと話し合いができていければと、そういうところでまた、令和3年度、方向性の中で示すことができればなと思っています。

吉野教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学力向上に対して、そして不登校に対して、ご意見ございましたけれども、教育委員会としては、トップ運動、学びの湧出を年度当初に掲げて、それに向けて頑張っているわけでございます。学力については学力向上プランを作って、年に2回見直しております。2回というのは学力調査が、県、全国のものが年度当初、そして、年度末に昨年度から、竹田市も学年末の調査を入れさせていただいて、その2回の結果を、それぞれの時期で見直して、プランを作成してお

ります。子どもたちには、伸びたところもしっかりと認めて子供たちに返していくことができましたし、課題もまた明らかになったところでございます。その課題に、しっかりと取り組み課題解決していくために、低学年、高学年、そして中学生で、特に力を入れて取り組むことを打ち出してやって参りました。また、来週実施の市の学力調査の結果が2月に戻ってきましたら、コロナ禍ではありましたが、どこに課題があるのかを把握して、そして次年度に向けて、次年度になる前にしっかりと課題に組んでいきたいというふうにとらえているところでございます。先生方は教師の授業力向上ということで、中学校は教科部会を、小学校は学年部会を、それでも、小学校11校すべての学年の先生が集まるわけにはいきませんので、近隣の先生方で集まって、また、集まれないときはリモートでもやっていますので、それはもう、他市の先生方が竹田市の先生方、本当にリモートでよく研究してってというふうに褒めていただいているところでございますので、自信を持って進めていきたいというふうにご考えております。以上です。

吉野教育長

まだまだこの議論は続けなければと思いますが、今日はこれぐらいとしておきます。賀籠六委員の先ほどの話は、学校教育課長しっかりと掴んでいますので、すでに学校と連絡しながら今対応していると思います。佐藤委員の話は、高校に進学した話のことですから掴んでいません。もし、何かあったらまた相談をしていただきたいと思います。いずれにしても不登校の話とか少ししましたが、正直言って竹田にしても不登校の数が増えているということは事実です。それでサフラン等についても、もっと手を入れなきゃいけないというふうに思います。ただ、気をつけなければならないのは、何か環境が変わったらすぐ子どもが変わるのではないかという、そういう思い入れというのはどうかなというのがあるんです。というのは、志賀理事と話が重なるところがありますが、ある中学校から来た先生ですが、その学校600人ぐらいですが、朝から保健室に行く子どもが一クラスあるというんですね、一クラスと言ったら3、40人ですよね、そういうふうになっていて、それでは教室での授業が成り立たなくて、かと言って支援員の先生がそう入れるわけじゃないというようなことで、もう朝から晩まで先生が授業どころじゃなくて子どもの対応で疲弊している。そういう話を聞くと、大分の教育というか日本の教育はどうなっているんだろうと。自分たちもこうしながらもですね、間違っている方向に行かなければいいがというふうに思いながら、日々模索しながらやっているわけです。そこら辺を考えて何か変わればどうにかなるんじゃないかという、そうではなくて今ある環境でどういうような形でしたらいいのかということですね、もっともっと私たちは掘り下げていかなければ。その上でもう統合しかないとか、或いは環境を変えていくべきだというふうになれば、それはそれでしなきゃならないし、ただ、統合すれば何かいいことだらけではないかという妄想だけです。私はしっかりと押さえとかないとというふうに、そこは思っています。だからといって統合しないというわけでもありません。学校の価値も十分わかっているつもりですし、また、この教室の空間は子供たちにとっては広すぎると、もっと話し合いのできる空間になっていいんじゃないかという、それはもうもちろん人数です。人数がじゃあどこ辺までなったらどうなるかというのは、また教育観によって違ってきますから。それはそれで十分議論していきたいというふうに思っていますし、いずれにしても、教育総務課長とよく話すのですが、長教審に載っている方針に基づいて、少しずつでもいいから前に進んでいこう

というふうにやっていますので、何かそういう話があったらそういうふうにお話
いただけたらと思います。まとまりませんでした。これで終わりたいと思
います。ありがとうございました。

[閉会時刻:午後4時 50 分]